



夢に向かう力、プリントで培おう！

● 「力が抜けた！」

Kちゃん(小5)は、2ケタ×1けたのかけ算の暗算が難しかったのですが、ある時からタイムがぐんと縮んでいます。また1つかべを乗り越えたようです。

晴子：ずい分楽になったみたいねえ。

自分でやって、どんな感じだったの？

Kちゃん：力が抜けた。

晴子：へえ～、「力が抜けた」ね。ふ～ん…

この言葉が、さらに面白い話へ私を導いてくれました。

● 夢をかなえるために、勉強も頑張ろう！

～ 初めてのカベ(ひき算の筆算)で ～

Kちゃん：ちょうど、このころ、私、夢のために頑張ろうって思ってた。100%中26%くらいしか、叶わない将来の夢。

晴子：えっ、そうなの？ それは、何？

Kちゃん：アメリカの有名な会社に入って、デザインをするの。お母さんに言ったら、「夢をかなえるためには、勉強も必要だよ」って、言われた。だから、勉強もがんばろうって思ったの。

晴子：そうだったんだあ～。

● 「できる」と思ってたから、つらかった…

～ 第2のかべ(かけ算の九九)で ～

Kちゃん：小2の時、すごくきびしい先生で九九を覚えた。だから、「九九はできる」って思ってた。

晴子：なのに、なかなか合格できなかったんだね。

じゃあ、引き算の時とは、気持ちも違った？

Kちゃん：うん、つらかった…

晴子：よくこの時、続けることができたねえ。

Kちゃん：うん、引き算のところでも合格できたから。

● 「スッキリ！」

～ 第3のカベ(学校で習わないわり算の方法)で ～

晴子：初めて、学校で習わないことを自分で考えてできるようになったんだよね。どうだった？

Kちゃん：ずっとやっていたら、わかってきた。

わからないことがあると、「解決したい」と思う。それがわかった時、すっきりする！「わからないことが一つ減った！」って。

豊吉：「すっきり！」かあ。それは、「力が抜ける」とは、違うの？

Kちゃん：うん、違う。

それから、続けてやっていると、当たり前のようにできるようになって「力が抜けた」って思う。

晴子：なるほど～。それは、「力がつく」っていうことなんじゃないかな？

Kちゃん：えっ…？

晴子：つまり、「わかった！」っていう時が、「すっきり！」。でも、「わかった」だけでは、まだ力はない。それから、続けてやってこそ、「力がつく」。その時が、「力が抜けた」という感じ。

Kちゃん：あー、そっかあ(^_^)

● 「夢」に近づいていける！

晴子：こうやって、一つ一つカベを乗り越えていって、プリントでなくてもできそう？

Kちゃん：うん。

晴子：こうやって一つ一つカベを乗り越えていくと、「夢に近づいていける」って…思わない？

Kちゃん：うん、思う！(^_^)

***** * ** * ** * *****

実はKちゃんは、壁にぶつかると、家でプリントに取り組むことが難しくなりました。つまり、「夢」があったとしても、「がんばろう！」「解決したい！」という思いを持っていても、1枚ができるとは限らないのです。むしろ、初めは、できない人が多いのです。だからこそ、本人はもちろん、サポートする大人が、「できない時」をどう受け止め、どう乗り越えるかが、とても大事なのだと思います。

そして、そういう体験を何回も何回も繰り返しながら「カベを乗り越えていく力」がついていくようです。

それは、「夢に向かう力」とも言えそうですね。

2014年

6月

7

7月

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5 📖	6 📖	7			1	2	3 📖	4 📖	5 📖
8	9	10	11	12 📖	13 📖	14	6	7	8	9	10 📖	11 📖	12
15	16	17	18	19 📖	20 📖	21	13	14	15	16	17 📖	18 📖	19
22		24	25	26 📖	27 📖	28	20	21		23	24 📖	2 📖	26
	30							28		30	31 📖		



「一人一人を大事にする」

すっかり、すぎな通信をさぼってしまいました(>_<) 5月、そんな私にエールを送ってくれるようなプレゼントがありました。

あれは、28年前。新任で3年生、4年生と持ちあがり担任をした後、結婚退職をしました。その生徒たちが小学校の初同窓会に私を呼んでくれたのです。

28年ぶりに会って、名前がわかるかしら？とドキドキしていましたが、わかるものですねえ～。「あんなに体当たりしてくれる先生は、後には出逢わなかった」「今思うと、よくあんなことしてくれたよなあ」と、あんなこと、こんなことに話しも笑いも尽きません。

数年前、私へのインタビューが中日新聞に載ったのを読んでいた子も何人かあり、今やこの小学校の校長先生で私の相担だった先生もその一人でした。お蔭で、短時間でも、学校と私の教室で話が通じたことは、嬉しかったです。

この学校では、当時すでに「生きる力」「仲間づくり」を目標に掲げ、地域の保護者と一緒になって米作りをし、高学年はお米の観察を毎日し、下級生を指導していました。子どもたちは日記を書き、その日記を通して、よく話したものです。私が出した学級通信は、1年目で65号、2年目は63号。先生方は、学級通信を全職員に配り、他の学級の様子や課題を共有し、ほぼ全校生徒の名前を知っていました。新任の私は、全ての先生に悩みを聞いてもらい支えてもらえたからこそ、2年間でしたが、悔いなく過ごすことができたのです。

思えば、「情報を発信し、共有する」、その重要性を体験したのは、この時。

そして、「一人一人を大事にする」、その姿勢と視点を教わったのも、この時。

大人になった彼らが、どの子も（いやいや、もう38歳なのですが…^_^:）、笑顔でお互いに名前を呼び合い、再会を喜び合う姿に、改めて思いました。

一人一人を大事にする。これこそ、生きる力・社会づくりの礎ではないかと。

📖 教室のある日



ありの読書会…10:00～12:30 参加費：300円

今は、村井実氏の著書「日本教育の根本的変革」を読んでいます。

8月に村井先生にも参加いただき、東京で合同読書会をすることになり、張り切っています(^_^)v

★ 参加希望の方は事前にお知らせくださいね。(毎月場所が変わりますので)

〒514-0821 三重県津市垂水 1200-7

☆豊吉晴子★S.L.S. すぎな☆

Tel : 059-222-9077

Fax : 059-226-3303

E-mail : haru_sugina1044@wave.plala.or.jp

ホームページ : <http://www.sugina3.com/>

ブログ : http://blog.goo.ne.jp/s_l_s_sugina/